

# 令和4年度若年技能者人材育成支援等事業 事業実施状況

兵庫県地域技能振興コーナー

(地域における技能振興事業)

区 分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
1. 技能五輪全国大会の予選の実施等	(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 全国団体からの推薦による参加職種に関して、その県内予選を実施する。  【日本料理職種、5名、8月中旬実施】 【和裁職種、5名、4月中旬実施】	(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 日本料理職種 実施日：令和4年7月26日 参加者：4名 和裁職種：実施なし
	(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ①技能五輪全国大会 参加選手及び指導者に対し、旅費等の援助を行う。 【日本料理・造園・電気溶接等、選手4名、指導者4名】 ②若年者ものづくり競技大会 工業高校生等の参加選手及び指導者に対し、旅費等の援助を行う。 【建築大工・木材加工等、選手10名、指導者10名】	(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ①技能五輪全国大会 (11月) 3名 (建築大工・電気溶接・日本料理) ②若年者ものづくり競技大会 (7月) 12名 (木材加工・フライス盤・造園・グラフィックデザイン メカトロニクス・建築大工・電気工事 電子回路組立て)
2. 卓越した技能者の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援	(1) 被表彰者の紹介コンテンツの一部を、センターが示す編集方針に沿って取材を行い、取材結果をセンターに提出する。	(年度内に7名について提出予定)

(ものづくりマイスター等の認定、登録に関する業務)

区 分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
1. ものづくりマイスター等の開拓	対象業種の企業・団体等に対して、文書、メール、電話、訪問等により、「ものづくりマイスター制度」を周知し、掘り起こしを行う。【5人予定】 また、情報処理系マイスターについては、県下の情報関連サービス企業や地域ICT推進協議会などと連携し、適任者を発掘し登録を働きかける。	(年度内に5名の申請予定)
2. ものづくりマイスター等に対する研修	認定されたマイスター等に対して、指導技法の習得・向上のための講習を実施する。【5回予定】	未実施

(ものづくりマイスター等の活用に係る業務)

区 分	実施計画	実施状況(2022. 11. 30 現在)
1. 若年技能者の人材育成に係る相談・援助	<p>関心のある企業等へ窓口及び訪問などにより、企業等への相談、情報提供を行う。また、公共訓練施設の施設借用等のための連絡調整を行う。</p>	<p>コーディネータによる企業訪問件数 46 件</p>
2. ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施	<p>(1) 中小企業等の在職者に対する実技指導          中小企業等に対して、技能競技大会課題や技能検定試験問題等を基にした実技指導を行う。  <b>【10社×5名×15回】750人日</b></p> <p>(2) 工業高校等の学生に対する実技指導          県下の工業高校や民間能力開発施設等の教育訓練機関に対して、技能競技大会課題、技能検定試験を活用した実技指導を行う。  <b>【10校×8名×10回】800人日</b></p> <p>(3) イベントエリアでの実演、体験          ①ものづくり体験コーナーの実施          「技能フェスタ」会場に、当協会が「ものづくり体験コーナー」を設置し、広く県民にもものづくりの喜び等を体験していただく。  <b>【8職種×10名×2日=160名、開催予定:10月29・30日】</b></p> <p>②こべっこランド体験教室  <b>【6職種×20名×1日=120名、開催予定:7月中旬】</b></p> <p>③ものづくり体験館教室の開催  <b>【3職種×10名×5日=150名、開催予定:8月中旬】</b></p> <p>④姫路フェスタ体験教室の開催  <b>【4職種×20名×2日=160名、開催予定:4月5・6日】</b></p> <p>⑤トライアル・ワークショップの実施          若年技能者を対象に技能五輪のPRと課題の一部を体験し参加者の交流と熟練技能者のアドバイス等を通じて意識啓発と技能習得の課題解決を図る体験型の「技能演習会」を開催する。  <b>【旋盤、溶接、建築大工、塗装 計4職種、開催予定:11月中旬】</b></p>	<p>(1) 中小企業等の在職者に対する実技指導          企業及び業界団体          3社4コース 32人日</p> <p>(2) 工業高校等の学生に対する実技指導          工業高校・専門学校          6校8コース 219人日</p> <p>(3) イベントエリアでの実演、体験          ①ものづくり体験コーナーの実施          令和4年10月29・30日          参加者数：115名          (6職種×2回×2日)</p> <p>②こべっこランド体験教室          令和4年7月17日          参加者数：110名(6職種×2回×1日)</p> <p>③ものづくり体験館教室の開催          令和4年8月3～24日11日間          参加者数：221名(4職種×1回×11日)</p> <p>④姫路フェスタ体験教室の開催          令和4年4月2・3日          参加者数：163名(4職種×1回×2日)</p> <p>⑤トライアル・ワークショップの実施          開催職種          建築大工、旋盤、溶接、金属塗装 計4職種          実施日：令和4年11月18日          参加者数：35名(10校2施設)</p>

区分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
3. 若者に対する「ものづくりの魅力」発信	(1) サポートステーションへの講師派遣 ①支援対象者に対するものづくり実演、体験 【8箇所×10名×2職種】160人日	(1) サポートステーションへの講師派遣 実施なし
4. 熟練者等による派遣指導及び「ものづくりの魅力」発信	(1) 工業高校等の学生に対する実技指導 県下の工業高校や民間能力開発施設等の教育訓練機関に対して、技能競技大会課題、技能検定試験を活用した実技指導を行う。 【3校×8名×10回】240人日	(1) 工業高校等の学生に対する実技指導 期間：令和4年6月～11月 実施：1校13名

(地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営)

区分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
1. 連携会議の設置	地方公共団体、経営者団体、労働組合組織等の関係者による連携会議を設置のうえ、本県の産業特性や就業構造等を踏まえた、本事業の推進計画の策定、進捗状況の管理などを行う。	
2. 連携会議の開催回数	2回(6月、12月)	開催回数：1回 (12/16に2回目開催)

(全国斉一的な事業展開)

区分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
1. 全国会議の開催等によるセンター・コーナー間の連携の強化等	センターとコーナーが密接に連携し、円滑に全国斉一的な事業展開を図るため、全国会議やブロック会議の開催等により、業務方針確認・徹底、実務ノウハウの向上・共有等を図る。	(1) センター主催「全国会議」の出席 WEB方式での開催(4月26日) (2) センター主催「ブロック会議」の出席 WEB方式での開催(10月19日)

(当初実施計画になかったが実施したもの)

区分	実施計画	実施状況(2022.11.30現在)
ものづくりマイスター等の派遣による指導の実施		(1) 丹波篠山市ものづくり実演&体験教室 令和4年9月25日、10月10日 参加者数：34名(5職種×1回×2日)